

# 令和7年度主要事業の取り組み状況について

- ◆伊達市では、人口減少への取り組みを最重要課題として掲げ、令和7年度から「第3期伊達な地域創生戦略」をスタートさせました。
- ◆令和7年度は、未来の基盤づくりのステップアップの年として位置づけ、「若者支援」「子育て支援」「健幸支援」「シビックプライド」の4つの柱を重点的に推進しています。
- ◆令和7年度の主要事業について、上半期(4月～9月)の進捗状況をお知らせします。

若者支援

子育て支援

健幸支援

シビックプライド  
(地域への誇りと愛着)

【幸せつなぐ4つの柱「選ばれるまち」を目指して】

## ■ 若者支援

### 主な取組内容

#### まちなか賑わい創出策実証プロジェクト事業

- 起業などにチャレンジしたい人を支援するため、阿武隈急行「保原駅」に伊達イノベーションサポートセンター（DISC）の設置を支援。
- 事業アイデア、ニーズ調査、資金調達などを相談員がサポート。 ※8月から相談窓口スタート

相談件数

5件



起業カフェ併設

#### 移住・定住促進事業

- 高子駅北地区の交流施設「U-プレイス伊達」で移住相談等を実施。
- 隣接するお試し居住施設では、移住検討者に伊達市の魅力を提供。

移住者数

32世帯39名



## ■ 若者支援

### 主な取組内容

#### スマート農業推進事業

○キュウリハウスに環境測定装置を設置し、さまざまなデータ活用による最適化を図り、効率的な農業経営を支援。9月には、スマート農業の推進と人材育成を目的に「伊達市スマート農業推進協議会」を発足。

設置件数

10件

#### 就農支援事業

○伊達市の基幹産業である農業の振興を図るため、担い手などを増やすための各種支援を実施。また、市内に開設した研修圃場を活用し市事業を実施。

補助等件数

24件

研修圃場活用件数

収穫体験63名、実技研修7名

#### 保育職就労支援推進事業

○市内の保育士不足を解消するため、市内に就労した私立園の保育士に一時金を支給。

件数

6名

#### 企業誘致対策事業

○保原新工業団地では4月以降に2社が操業開始。進出企業6社のうち5社が操業。

現在の従業員数

80名（うち新規採用42名）

※進出企業6社全てが操業し、各社3年の年次計画での従業員雇用人数は約250名想定



スマホで生態情報を管理



## 子育て支援

### 主な取組内容

#### 認定こども園運営事業

- 昨年度オープンした2園に引き続き、保育の受け皿を拡充するため、令和7年4月より市内1か所に認定こども園の運営を開始。新しく完成した住宅団地のある高子地域の保育ニーズに対応。



#### 伊達市版ネウボラ推進事業

- 昨年度オープンしたこども家庭センターを拠点に、妊娠期からの切れ目のない支援を実施。保健師などの専門職による伴走型支援、子育てに関するアドバイスなどを実施。
- 「育児をみんなで楽しもう」をコンセプトに定期的に子育てサロンなどを実施。

育児パッケージ配布数

108件

産前産後サポート事業参加者数  
(サロン、カフェなど)

28回開催 245組

#### 子育て応援出産祝金事業

- 第3子からの子どもの出産に際し、出産祝金を支給。

件数

26件



## ■ 健幸支援

### 主な取組内容

#### 高齢者ライフサポート事業

- 6月から高齢者が人生を有意義に過ごすための準備としての終活を支援する事業を実施。
- 身寄りのない高齢者などの情報登録、エンディングノートの書き方支援、各種相談等を実施。

相談件数

73件

#### 健康運動習慣化支援事業

- 生活習慣病を予防し健康寿命を延ばすため、集会所等で「元気づくり会」を実施。
- 今年度は、集会所のない地域において交流館等を会場に実施。

延べ参加者数

24,129名

元気づくり会の会場数

5会場（H26年度） → 159会場（R7年9月現在）

#### 健康づくり事業

- 重症化予防と蔓延予防のため予防接種を実施。歯と口腔の健康づくりのため成人歯科検診事業を実施。

带状疱疹ワクチン接種者数  
（R7年8月末現在）

1,071名（23.3%）／対象者4,589名

成人歯科検診受診者数  
※ 6月から開始（R7年8月末現在）

108名（2.9%）／対象者3,767名



## ■シビックプライド(地域への誇りと愛着)

### 主な取組内容

#### 伊達市公共サイン統一整備事業（令和6年度からの繰越事業）

- 合併後も統一されていなかった公共サインについて、人の流れを円滑に誘導・管理するため、統一した公共サインを整備。
- まちの一体感や魅力の向上につながる「伊達市らしさ」を取り入れ、市民に親しまるデザインに統一。
- 市民をはじめ来訪者にも魅力を感じてもらい愛着を持つビッグレターサインを整備。



#### 史跡整備保存活用事業

- 8月20日に、伊達市、福島県、福島県教育委員会の3者で「旧梁川高等学校の敷地の利活用に関する協定」を締結
- 史跡伊達氏梁川遺跡群に隣接し歴史的に価値ある場所として、今後、歴史公園やガイダンス施設などを整備予定。今年度は整備基本計画を策定。
- 10月4日、歴史文化講演会を開催予定。



## ■シビックプライド(地域への誇りと愛着)

### 主な取組内容

#### 伊達食ブランド化推進事業

- 9月27日～28日の2日間、保原総合公園で伊達鶏のブランド化とPRを推進する「ふくしま三大鶏フェス」を実施。(30ブース出店)



#### 農産物魅力発信事業

- 8月22日、首都圏で伊達の桃やあんぽ柿、伊達鶏などの伊達食を楽しむ交流イベント「伊達市ファンミーティングー桃一会」を開催。

参加者数

98名



- 伊達市産の桃などの農産物を消費者に直接伝えるため、北海道、仙台市、東京都内などでトップセールスを実施。
- 7月4日、東京ドームで「伊達市桃コラボ」を開催。令和5年度から3回目の開催で、桃などの農産物や市の魅力を発信。

